

+幸せを探すあなたへ

チャン・ジャヨンのリストと デスノート Death Note

ある新人女優の死 チャン・ジャヨン自殺の件で火がついた芸能界の性的な慣行。3月21日MBC「ニュースデスク」で、芸能界のスポンサーの実状を告発して衝撃を与えています。トップ(Top)芸能人から新人まで70、80人を管理しているというスポンサーブローカーは、芸能人がスポンサーを断る場合は10~20%程度だと明らかにしました。スポンサーは大部分、性接待と関係していて、新人は一週間に2度、スターは一ヶ月に3、4回程度会うと明らかにして、その代価として、アパート、乗用車、現金を受け取ると言いました。さらには、近頃は、女性芸能人が先に要求する場合もあるということです。これは韓国だけのことではありません。2006年、中国の女優チャン・ウィは、ドラマの中の役をもらおうとするなら、女優の場合は、監督やPDに性を提供しなくてはいけない「不文律」が芸能界に堂々と存在していると、爆弾宣言をしながら、その資料を公開して波紋を起こしました。レコードチャイナの発表によれば、演技スクールや、演劇映画科に通う学生の中の40%以上が、配役をもらうために、性的アピールを試みたと明らかにしました。近頃、市中にはデスノートと呼ばれるチャン・ジャヨンのリストがインターネット上で歩き回って、関連した人々の気をもませています。世の中に絶えず繰り返している呪いの問題、私たちはどのように受け入れなければならないのでしょうか。はたして、関係者のリストを公開して、法を作って処罰すれば解決されるのでしょうか。いったい誰がこのように、人間を汚らしい消耗品の人生にさせていくのでしょうか。その張本人が、私も知らない間に私の名前をデスノートに書いたとすれば、どうしますか。

デスノート(Death Note)に記録された人々 魚は水の中に、木は地中に根をおろして、人間は神様といっしょに暮らさなければならぬ創造原理を破ってしまい、サタンにだまされて神様を離れた後、すべ



ての人間は汚い運命と呪い、地獄というデスノートに閉じ込められてしまいました。この時から人間は、サタンの奴隷になって、あらゆる汚い呪いと苦しみの中に陥るようになって、どんなことによっても満たされないむなしさをいっぱい抱いたまま、占いやお祓いをしてながら、あらゆる偶像崇拜に陥り、弱い人生を生きるようになりました。その上、知識と名誉、お金が多くても、真の満足を感じることができなくて、いつも不安に思いながら、不眠症、うつ病のような精神的な問題に捕われるようになりました。それだけではなく、肉的な病気の問題、繰り返す失敗に苦しめられたりもします。快樂におぼれてみても、まことの安らぎはありません。結局、この世を離れる日、永遠な地獄の苦しみの中に陥るしかなく、私が体験した苦しみは、子孫に伝えられるしかありません。あらゆる努力、善行、宗教、倫理、道徳では解決することができないサタンの問題、運命の問題、呪いと災いの問題、地獄の問題をどのように解決することができるのでしょうか。この時、神様は「神の子(イエス・キリスト)が現れたのは、悪魔のしわざを打ちこわすためです」(イヨハネ3:8)という絶妙な約束をくださいました。

ライフノート(Life Note)に記録された人々 イエス・キリストを信じて神様の子どもになった人々、その人々の人生はこのようです。神様がいつも共におられます。神様がどんな環境の中でも、すべての生活を導いてくださいます。祈りに必ず答えてくださって、聖霊で働かれます。汚いサタンの勢力に勝てる権威を与えてくださいました。私たちの弱さをご存知で、主の天使を送って守ってくださいました。そして、この世で天国を味わって生きるだけでなく、死んだ後、永遠な天国を約束してくださいました。このライフノート(Life Note)にあなたの名前が記録されることを祈ります。

「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことなく、死からいのちに移っているのです」(ヨハネの福音書5:24)

長老伝道企画時代

何をにぎって
何を残すのでしょうか

あなたが世を離れる日 その日は、明らかに決まっています。ヘブル9章27節に「人間には、一度死ぬことは定まっている」と言われています。その日には、世の中の何も効果がなくて、どんなに大切にしていたものでも、何も持っていくことはできません。むしろ、多くを残すほど問題だけ生じます。しかし、残ることがあります。信仰の足跡です。皆さんは年老いても、信仰の歩みは続いて行くでしょう。世を離れる日にも、信仰の足跡は離れないでしょう。全世界に次世代のための共同体訓練場(RUTC)が立てられ、隅々に地域を生かすための地教会が立てられれば、どんなことが起きるでしょうか。全世界に福音を持った次世代が起きて、専門担当者になって、政治家になって、裁判官になって、企業家になる時、またどんなことが起きるでしょうか。神様が計画された現場に、あなたの人生の旅路(Story)だけが、静かに残るようになるのです。重職者の歩みは、単純な歩みではなく、世界史、キリスト教会史、一時代の歴史に残る証人の歩みです。

何を握って始めなければならないのでしょうか 初代教会は3つの中に全てがあるという事実を握って、確認して体験して、あかししました。それが何でしょうか。人間のすべての問題を終わらせて、暗やみの勢力に勝つ唯一の奥義、それがまさに、ただイエスがキリスト(使徒 1:1)という事実です。私の人生にキリスト、その方がキリストになる神の国(使徒 1:3)が臨む時、はじめて、すべての葛藤と試みと落胆する状況に勝つようになります。そして、私の生活と家庭、産業、職場、未来のことの中に、キリストが主人に(使徒 1:8)なる時、すべての答えの門が開く聖霊の働きが現れるようになります。福音(使徒 1:1、3、8)の中に全てのことがあります。この時から、私たちの全てのことを祈りにつなげる人生の優先順位を持てば良いのです。祈りの答えを受ければ、どんな状況の中でも成功することができます。ジョージ・ミュラーは、生活に起きる全てのことを祈りにつなげて、5万回を超える答えを受けました。この答えを受ける時、私たちはただ福音だけを握っていたのに、すべて解決されて、その中から全てのものがみな出てきたと告白するキリストの証人になるのです。これが世界史を変えた初代教会の答えで、証拠であると同時に、私たちの重職者の開始です。

神様の子どもになる
受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決して下さったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



神様の子どもの中の五つの確信

救いの確信：イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ 8:15~16、Iヨハネ 5:10~13)

祈り答えの確信：神様の子どもはイエス・キリストのお名前でも何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ 15:7)

導きの確信：神様は聖霊であなただけの中におられ、あなたのすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ 14:26~27、箴言 3:5~6)

赦しの確信：あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さいます(Iヨハネ 1:9、ローマ 3:24)

勝利の確信：救われたあなたは、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます(ローマ 8:31~37、Iヨハネ 5:4)



神様の子どもの中の毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。

今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

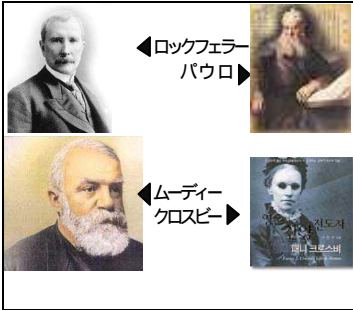
どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされるようにして、私の現場に神の国が臨むようにしてください。

毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

真の成功者の人生ストーリー



お母さんの10戒 貧しい家庭で生まれて、小学校を卒業して1857年クリーブランド精油工場書記として週給5ドルもらうことから出発し、アメリカで最高の富豪になった石油王ロックフェラー、彼は多くの財産をシカゴ大学をはじめとする24個の大学設立と、公共図書館、奨学財団、保育園、2千個の教会を立てるために寄付をして、社会支援活動と慈善事業を活発に繰り広げて、鉄鋼王カーネギーとともにアメリカで、もっとも尊敬される金持ちとして知られています。ロックフェラーは、神様の恵みに感謝して、ニューヨ

ークのリバーサイド教会を立てたのですが、教会の入口にはお母さんがロックフェラーに残した10の戒めが刻まれています。神様を父以上に崇めなさい。

牧会者を神様の次に崇めなさい。 聖日礼拝は所属している教会でささげなさい。

右側のポケットは、いつも十分の一献金のポケットにしなさい。誰も敵にはなりません。朝に目標をたてて祈りなさい。床に入る前に、一日を反省して祈りなさい。朝には必ず神様のみことばを読みなさい。他人を助けられるなら、力いっぱい助けなさい。礼拝時間に講壇の前に座りなさい。このように成功する人には、成功するしかない人生のストーリーがあります。

3つの人生ストーリー

最初に、個人の人生に対してみことばが整理されるべきです。言いかえれば、必ず福音に関するみことばと人生に関するみことば、未来に向かって進めるみことばが整理されているべきです。聖書66巻を通してサタンに勝つ御名、人間の運命を変える道、地獄の権威から抜け出す道は、イエス・キリストしかないことを唯一性で持っているべきです。この時、個人と出会う人、家庭、産業、地域に神様の祝福が臨むようになっていきます。そして、訓練を通してキリストの唯一性を体験して、システムを通して福音運動が持続する答えと未来を準備する祝福を受けるようになります。自分の職業、職分、状況にふさわしく合うみことばを捜し出して整理しなければなりません。そうなる時、講壇で聞いたメッセージが、自分の人生に一致して、未来に対する方向と時刻表が見られるようになります。二つ目、教会に対してみことばが整理されるべきです。教会は、使徒2章の5つの力(聖霊の満ちし、出会い、伝道の門、弟子、現場変化)を得て、世界宣教の祝福とローマ16章の世界福音化の祝福を味わう所です。三つ目、伝道に関するみことばが整理されるべきです。現場の6つの未信者状態を見て、神様と私だけの裏面契約の中で、世界福音化の計画を成し遂げるの(使徒1:8)です。パウロは、行く所ごとに自分を召された使徒9章15節のみことばを告白しながら、使徒19:21、23:11、27:24節のみことばを握りました。

祈りが優先です

肉的な力では世の中に勝つことはできません。それで、祈りの体質からそろえるべきです。定刻祈りを通して、まず私自身がインマヌエルを味わって、世の中に勝つ霊的な力を得て、常時祈りの中で霊的な目を持って現場を味わえば良いのです。そして、礼拝祈りを通してみことばを受ける時ごとに六日間、生活の現場で受ける答えを握るのです。福音を持った者が祈れば、必ず聖霊が働かれて、呪いは離れ、サタンは打ち砕かれるようになります。これが福音的な祈りです。私たちには、すばらしい未来が準備されているので、その未来をながめながら今日の祈りを味わうのです。イエス・キリストの御名は、万物を服従させるほどの権威ある御名です(ピリピ3:21)。皆さんの祈りは必ず答えられるだけでなく、神様の子どもは失敗することはありません。

説教_柳光洙牧師、整理_チャ・ドンホ牧師

毎日毎日の森の泉

30日(月)

自身の問題を解決しなさい(使徒1:12~14)

人が持っている霊的問題は、福音の中で深い祈りを通して解決します。深い祈りとは、一人でみことばを読んで聞きながら、深く黙想して、ただ神様を見上げて聖霊の満ちしを求めて切実に祈ることです。

31日(火)

神様の前で(使徒13:16~23)

自分の考えと体質に固執して、自分の地位と利益を計算する人は、答えを受けることができません。神様に大きくずっと用いられようとするなら、主の働きをする時は、神様の前に立って私の動機を捨てるのが成功の秘訣です。

1日(水)

伝道の基本備え(使徒1:8)

私ひとりが恵みを受ければ、他の人を助けて生かすのはやさしいです。先に聖霊が私に働いてくださる聖霊の内住を味わって、聖霊の導きを受けるようになれば、自分と周りに聖霊の満ちしのみわがが起きるようになります。そして、周りの人々に合う伝道資料とスケジュールを準備すれば良いのです。

2日(木)

神様を見上げる私だけの時間(使徒1:12~14)

世界福音化の開始は個人です。一人でいる時間に、神様から来る力を受けて、恵みを受ける奥義を持った人は、世の中を生かします。今日からイエスはキリスト、神の国、聖霊の満ちしの契約を握って祈る時、神様の働きとみことば成就は当然、成されるようになっていきます。

3日(金)

牧会者のための祈り(ローマ16:17~27)

祈りに集中できて、祈りの力を得るようになったら、どんなことにも落胆したり、不平不満を言うことはなく、多くの人を生かす素晴らしい人になることができます。この祈りの奥義を持って、ともに聖霊の働きを見て体験する人が弟子のモデルです。

4日(土)

私は聖霊の導きを受けているのでしょうか(使徒13:1~3)

伝道しようとする時、いつも質問しなければならぬのが、「私は聖霊の導きを受けているのか」ということです。聖霊の導きを受ける時、教会の中に弟子が立てられ、教会の外の弟子がつながって、システムが立てられて、伝道の黄金漁場、死角地帯、災い地帯に向かって挑戦するようになります。

週間メッセージ

産業宣教 経済と教会(ローマ16:23)

伝道学 専門性に向かった習慣
(詩78:70~72)

核心訓練 ミッションホームとキャンプ
(使徒16:16~18)

聖日1部 両親の祈り(出2:1~10)

聖日2部 真の祈りの課題(ローマ1:9~10)



イラスト_ユン・スルギ

格好よさ 余裕あり

最近、読んだ本の中に、おもしろい話があっ

て、アンダーラインまで引きながら読んだ。

中国の蜀の国の伝説的な軍略家の諸葛亮が100人の軍人で敵軍15万人を退治したということだ。彼が大軍を遠く派遣して、小さい村で休息を取っていた時、司馬懿(しばい)の敵軍が彼を捕らえるために押し寄せてきた。結果は、すでに明らかなきに、諸葛亮は、部下に命令をくだして、城の中のすべての旗をおろして、城門をぱっと開いて退いた後、兵士たちには体を隠すようにさせた。その後、彼は城壁の上の高いところに上がって弦楽器を演奏しながら歌を歌ったのだ。限りない行列を成しながら、城門の前にたどり着いた敵の軍隊は、激しい葛藤とともに混乱してしまった。天下の名将、諸葛亮が何か自分たちをたたき壊してしまう、すばらしい戦略を隠していると想像した彼らは、急いで退却してしまった。それで、歌う諸葛亮が勝ったのだ。問題の前で、狼狽したり、怒ったり、回避しないで、正面突破、それも堂々と余裕をもって対抗する彼の姿が素晴らしい。

格好よさは、状況を制圧する余裕があることから生まれる。きれいに責任転嫁をしたり、うろたえてあわてながら言い訳する姿をながめれば、むしろかわいそうだと見える。怒るのは喪失感の表現である。言いかえれば、その状況を征服して治める力がないと自分が判断した時、人々は怒って、ひとまず怖がらせようとするということだ。

回避・・・言う必要もなく、卑怯である。ところで、動機に満ちた諸葛亮ではないが、次にこれら全て一連の行動が、私たちすべてに共通して潜在しているということは否定できない。はなはだしきは、イエス様の弟子たちですらもそうであった。

ある日、弟子たちは、イエス様とともにガリラヤの湖を渡る船に乗るようになった。イエス様は、時間があつたので、お休みになっていた。この時、強風が吹いて船が危険になって、弟子たちがわめいた。「主よ。主よ。私たちは死にそうです」イエス様に

付いて回りながら多くのしるしと不思議を見たのに、ある日吹く強風の前で死にそうですと泣き叫ぶ。こんな時なのに余裕があるように、暇そうにおやすみになっているのかと言った(ルカによる福音書8章22~25節)。イエス様の弟子たちだけではない。東方の義人だったヨブも、ある日、迫ってきた人生の暴風の前で嘆きに陥っていた時、暴風の中に現れた主なる神様が彼におっしゃられた。

「あなたは勇士のように腰に帯を締めよ」(ヨブ記38章3節)そして、質問された。「わたしが地の基を定めたとき、あなたはどこにいたのか」天地を造られた神様、創造主の絶対主権を認めているかと尋ねられたのだ。同じように、イエス様は揺れる船内で、はっきりと弟子たちに質問された。「あなたがたの信仰はどこにあるのですか」そして、海と風に向かって叱られたのだ!

ところで、ここにイエス様の次に本当に素晴らしい人がいる。使徒パウロだ。霊的な目が開いて、やみから光に、サタンの権威から神様に出てきた彼は、(使徒の働き26章18節)ユーラクロンという暴風が吹いて、救いの希望が断たれ、人生の問題の前で、このように話した。

私はカイザルの前に立たなければならない・・・私は神様を信じます(使徒の働き27章24、25節)

人生に障害をもたらす暗やみの勢力と相対して戦う霊的な兵士として、風と海を叱る堂々とした気質、そして、未来をはっきりと保障する創造主なる神様の臨在を信じる力強い信仰、この確信から真の余裕が芽生えてくる。この余裕を持った人に出会えば、素晴らしくて、ほれるしかないのだ。

文_キム・ユスン牧師夫人(随筆家)

*相談したい方はこちらまで連絡してください